

# 週休2日制モデル工事について

橋本 智一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関東地方整備局 企画部 技術管理課 (〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1)

建設業の担い手については10年後に大量離職が見込まれており、若年入職者の確保・育成が喫緊の課題である。将来の担い手を確保するためには、週休2日の確保に代表される働き方改革を推進する必要がある。

本報は、建設現場における週休2日制モデル工事を促進するために、工事工程表の開示や週休2日チャレンジサイトによる広報を中心とした関東地方整備局独自の取組みを紹介し、建設業全体の週休2日の取組みを浸透させることを目的とするものである。

キーワード 働き方改革、週休2日、適切な工期設定、工事工程表の開示、チャレンジサイト

## 1. はじめに

建設業の担い手については、今後10年間で、技能労働者約340万人のうち約110万人が高齢化等により離職の可能性があり、若年入職者の確保・育成が喫緊の課題である<sup>1)</sup>。(図-1)

建設業は年間300時間以上の長時間労働となっており、全産業平均と比較しても労働時間が多く、他産業では一般的となっている週休2日も十分に確保されていない状況である<sup>2)</sup>。(図-2)

一方で、建設業は、災害対応やインフラ整備・メンテナンス等の役割を担う重要な産業であり、今後もしっかりと役割を果たしていくためにも週休2日の確保に代表される働き方改革を推進し、将来の担い手を確保していくことが必要となっている。

国土交通省直轄工事では、率先して、週休2日の確保をはじめとして長時間労働を抑制する取組みを展開し、働き方改革を推進している。

本報では、関東地方整備局における「週休2日制モデル工事」の取組みを中心に述べる。

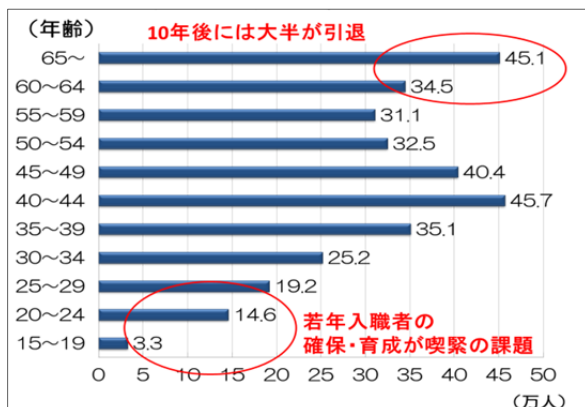


図-1 年齢別の技能労働者数

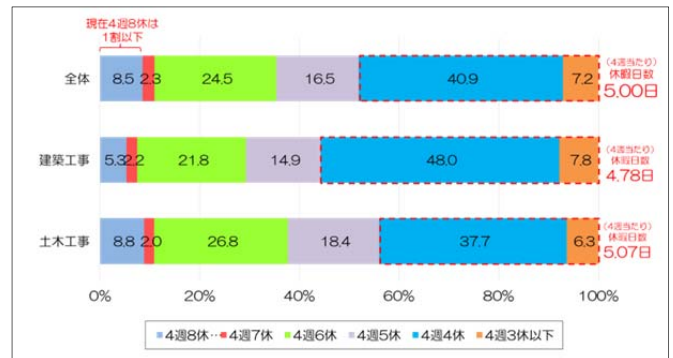


図-2 建設業における休日の状況

## 2. 週休2日工事に関する国土交通省の取組み

国土交通省では、平成29年度より週休2日工事の推進にむけて、さまざまな取組みを進めているところである<sup>3)</sup>。

### (1) 適切な工期の設定

- 工期設定支援システムの活用
- 準備期間及び後片付け期間の設定見直し
- 工事工程の受発注者間の共有
- 余裕期間制度の積極的な活用

### (2) 企業のコスト増加への対応

- 週休2日を考慮した間接工事費等の補正 (表-1)

### (3) 労働者の収入減少への対応

- 施工時期の平準化
- 低入札価格調査基準の見直し
- 労務費の補正 (平成30年度より) (表-1)

表-1 週休2日の必要経費の補正

	H29年度	H30年度		
	4週8休以上	4週6休	4週7休	4週8休以上
労務費	—	1.01	1.03	1.05
機械経費(賃料)	—	1.01	1.03	1.04
共通仮設費	1.02	1.01	1.03	1.04
現場管理費	1.04	1.02	1.04	1.05

### 3. 週休2日に関する関東地方整備局の取組み

関東地方整備局では、建設現場における週休2日制モデル工事を広く浸透させ促進させるために、独自の取組みを進めているところ。ここでは、受注者から反響の大きかった工事工程表の開示や週休2日チャレンジサイトによる広報を中心に紹介する。

#### (1) 関東地方整備局における工事工程表の開示

##### 1) 背景・目的

工事発注において、工事の内容、地域の実情、自然条件、建設労働者の休日等による不稼働日等を踏まえ工事施工に必要な日数を確保するなど適切な工期設定に努めているところであり、特記仕様書において、工期を明示しているところである。

しかしながら、工期のみでは、工事工程や現場環境・条件設定の考慮・反映状況がかわからず、週休2日制モデル工事への参画にあたり不安等がある、工事工程表の開示を求めるといった、受注者の意見があった。

そこで、入札公告の際に、発注者が算定した工種毎の工程や工期設定の根拠となった制約条件(関係機関との調整、住民合意等の進捗状況等)を工程表で表す「工事工程表の開示」をすることで、受注者が週休2日制モデル工事に参加しやすい環境を整備している。(図-3)

【見積参考資料】概略工事工程表

工事名：〇〇道路〇〇地区改良工事

工 程	単位	数量	平成30年度				平成31年度				備考 (バーチャル(日)数等)				
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		6月	7月	8月	9月
準備	式	1													・30日間
道路土工	m3	10,000													・路床盛土工(2pt) ・路体盛土工(2pt)
排水構造物工	m	500													
舗装工	m2	5,000													・路盤工(1pt) ・路床工(1pt)
行属施設工	式	1													(1pt)
区間舗工	式	1													(2pt)
後片付け	式	1													・20日間
関連工事(前工事)	—	—													・〇〇改良工事
関係機関協議	—	—													・〇〇県
住民合意	—	—													
用地確保	—	—													
施工手続書	—	—													
変遷物件の移設	—	—													・下水道 の〇〇工 ・29年10月～31年1月 の〇〇工
年末年始、お盆	—	—													
出水期間	—	—													
路上工事抑制	—	—													・3月

図-3 開示する工事工程表のイメージ

##### 2) 工事工程表の内容について

「工事工程表」は入札契約手続きに係わる見積参考資料として提示する。

工事工程表の基本事項、記載内容は以下のとおり。

- 工事工程表はバーチャートを基本とし、当該工種の主たる工種(レベル2程度)の概略工程を記載する。
- 発注時に工事工程に影響することが想定される関係機関との調整、住民合意、用地確保、その他法定手続き等の実施時期や完了見込み時期等を記載する。
- 準備、後片付け期間を記載する。

#### 3) フォローアップアンケートの実施について

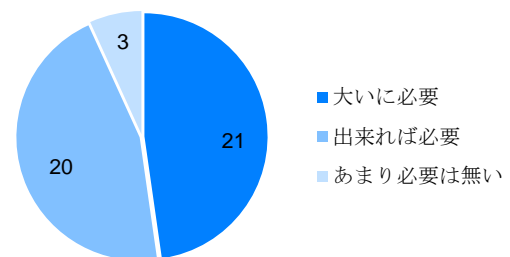
本試行の実施状況、効果および改善点等を確認し、今後の制度検討の基礎資料とするため、受注業者を対象にフォローアップアンケートを実施した。(アンケート対象期間 2018.2.7~2018.2.28 N=44)

アンケート調査結果の概要は以下のとおり

##### a) 工事工程の開示の必要性について

受注者の9割以上が、週休2日制モデル工事の発注にあたり、工事工程表の開示は必要と感じている。(図-4)

しかしながら、週休2日モデル工事の導入にあたり実際開示された工事工程表が参考になったと、回答した受注者は、約半数であった。



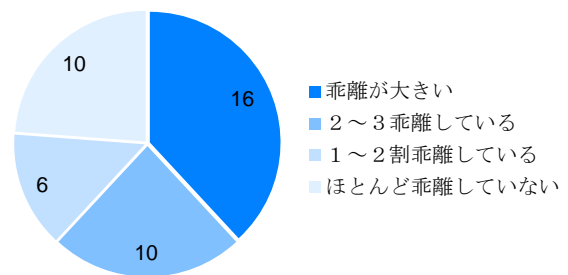
(N=44)

図-4 開示の必要性

##### b) 実工程表との乖離について

約4割の工事において、開示された工事工程表と受注者の実工程表の乖離が大きい状況であった。(図-5)

乖離の理由としては、「制約条件が示されていないため」といった意見が最も多かった。



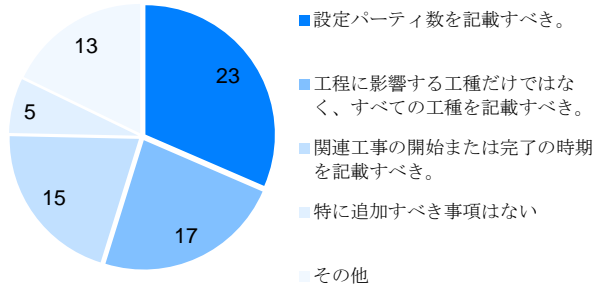
(N=42)

図-5 実工程との乖離状況

c) 工事工程表に関する意見

工事工程表に「設定パーティ数の追加」を望む意見が最も多かった。

次いで、「工程に影響する工種だけでなく全ての工種を記載」、「関連工事の開始または完了の時期に追加」といった意見が多かった。(図-6)



(N=73 複数回答可)

図-6 受注者の要望項目

d) アンケート意見等を踏まえた改善

アンケート結果を踏まえ工事工程表の記載内容の見直しを行い、週休2日制モデル工事の取組環境の改善を図った。

- ・ 設定パーティ数の追加
- ・ 関連工事の開始または完了の時期の追加

(2) 週休2日チャレンジサイトによる広報

1) 背景・目的

週休2日の実現のためには、関東地方整備局発注工事の受発注者に留まらず、当局での取組みを事例として、他機関等の工事にも広く浸透させ、建設業界全体の取組みとして広げ展開させなければならない。

そこで、週休2日の確保に取組む現場や様々な取組みの共有を図り、建設業の取組む働き方改革を応援する「週休2日チャレンジサイト(以下、チャレンジサイト)」を開設した<sup>4)</sup>。

- 関東地方整備局ホームページ内に「週休2日チャレンジサイト」を開設し、週休2日の確保に取組む企業(工事)を紹介。
- 地方公共団体や建設業団体等が行う建設現場での休日確保や労働時間の短縮に向けた取組みを情報共有することにより、建設業が取組む「働き方改革」を応援。

なお、この「チャレンジサイト」は、関東地方整備局が進める「“地域インフラ”サポートプラン関東2017」の取組みの1つでもある<sup>5)</sup>。

2) 掲載内容(図-7)

- 関東地方整備局の週休2日試行工事の概要

b) 各現場の取組み状況(15機関9工事を掲載)(図-8)

c) 各事務所の週休2日チャレンジ状況

d) 他機関の情報提供(14機関)(図-9)

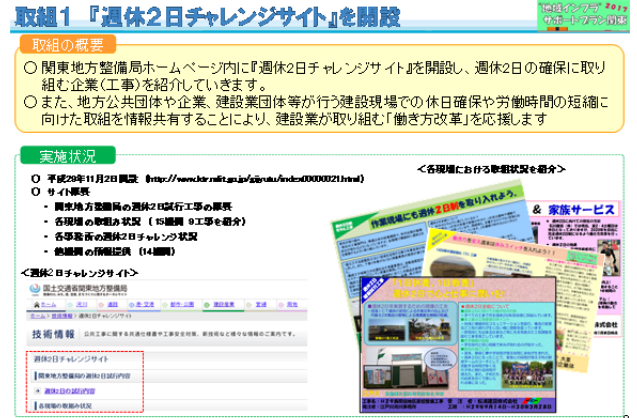


図-7 チャレンジサイトの掲載内容



図-8 各現場の取組み状況の例



図-9 他機関の情報提供の例<sup>6),7)</sup>

3) 取組成果

受注者・建設業協会から、週休2日に取組む企業の増加に期待するとの意見や休日確保の方法などの情報提供

を参考にしているなどの意見がある。

チャレンジサイトを通じた広報により、建設現場における週休2日の取組みに関して、建設業者に広く浸透し、次年度以降の更なる拡大に寄与していくことが期待できる。

### (3) その他の取組み

さらに、関東地方整備局では、より一層週休2日工事を推進していくために、独自の取組みを実施しているところである。

#### 1) 履行実績取組証の発行によるインセンティブ付与

現場閉所率が21.4%(6日/28日)以上を達成した工事に「履行実績取組証」を発行しており、「履行実績取組証」を取得した企業は、その後の発注工事の総合評価において加点評価を行うこととした。

#### 2) 悪天候により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

降雨によって工期が厳しくなることを懸念し、休日を休まずに施工する受注者が多い現状を改善するため、悪天候の工期延期の協議を簡素化する試行を行うこととした。

#### 3) 発注者指定方式の開始

週休2日制モデル工事について、平成30年度から、新たに発注者指定方式を導入した。

また、受注者希望方式では、工期の制約を緩和し、対象を拡大した。

## 4. 週休2日制モデル工事の課題及び方針

### (1) 週休2日制モデル工事を進めていくうえでの課題

アンケートや巡回現場会議等による受注者の意見を踏まえると以下の課題等があげられる。

#### 1) 適切な工期設定、工事工程となっていない

- a) 巡回現場会議において、約4割の現場で準備期間の不足や不可能な工期設定など工期が十分に確保されていないとの意見があった。
- b) 現場環境や制約条件、関係機関協議の状況等が適切に工事工程に反映されず、開示された工事工程表と実工程に乖離が生じている。

#### 2) 週休2日制モデル工事に関するPR不足

- a) 直轄工事現場での浸透が十分にされていないこと、発注者の認識が十分でない。
- b) 他機関や民間工事等において、取組が進まない。
- c) 受注者から、もっと色々な現場を紹介してほしいという意見やまだまだPR不足との意見がある。

### (2) 対応方針

今後の週休2日工事の本格実施に向け、現行の週休2日制モデル工事の取組についてのフォローアップ調査を行い、その結果も踏まえ、週休2日制モデル工事の取組内容等の検討を行い、見直し・改善を行っていく。

#### a) 適正な工期設定、工事工程の確保

各現場において、適正な工期設定、工事工程の確保について、再度、周知・徹底をしていく。

#### b) 工事工程表の開示のフォローアップ

フォローアップ調査を行い、その結果を踏まえ、記載項目・情報や設定条件等について検討し見直しを図る。

#### c) 工期変更の協議の簡素化（試行）

今年度の実施結果を踏まえ、内容等の見直しを図る。

#### d) 週休2日チャレンジサイト

紹介内容の充実を図るとともに、広く社会に拡げていくための周知方法等について検討し、サイトの改善を図る。

#### e) 発注担当者向けに週休2日制モデル工事の実施要領を改定

発注担当者から、週休2日制モデル工事の実施結果を踏まえた実施要領の課題や改善点等についての意見等を聴取し、発注実態に則した内容に見直し・改善を図る。

## 5. おわりに

建設業は、インフラ整備の担い手として我が国の経済・社会を支える産業であると同時に、災害時には社会の安全・安心の確保を担う、地域の守り手として私たちの生活になくてはならない産業である。

建設業を魅力的な産業とし、将来にわたって担い手を確保することは国民の利益にもつながる。担い手確保の一助となる週休2日の確保について、建設業団体や受注者等と一体となって改革に取り組み、発注者としての責務を果たして参りたい。

### 参考文献

- 1) 総務省「労働力調査」（2016年平均）
- 2) 日建協「2017時短アンケート（速報）」
- 3) 国土技術政策総合研究所「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会」2017年3月
- 4) 関東地方整備局「週休2日チャレンジサイト」  
URL: [http://www.ktr.mlit.go.jp/gi\\_jyutu/index00000021.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000021.html)
- 5) 関東地方整備局「“地域インフラ”サポートプラン関東2017」  
URL: [http://www.ktr.mlit.go.jp/gi\\_jyutu/index00000023.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000023.html)
- 6) (一社)日本建設業連合会「統一土曜閉所」ポスター
- 7) 埼玉県「埼玉県Happyサタデー」チラシ